

*今年度開催のグローバル・スタディーズ研究科シンポジウム/ワークショップについては、コロナウイルス蔓延による海外渡航制限および社会的距離を確保する必要性を鑑み、すべてオンラインで開催いたします。



グローバル・スタディーズ研究科 大学院生・次世代研究者イニシアティブによる シンポジウム/ワークショップ 2022年度企画募集

グローバル・スタディーズ研究科では、教育研究活動の一環として、大学院生および若手研究者が中心となって運営するシンポジウムおよびワークショップを下記の通り募集いたします。

シンポジウムおよびワークショップは、学外の研究者との研究ネットワークを構築すること、また発表や討論を通じて研究をさらに発展させることが目的です。

応募者はワークショップに企画案を提出します。企画案のうち、特に優秀なものをシンポジウムとして採用いたします。シンポジウムでは、発表者、コメンテーターに加え、国内外から講演者を招聘するものとします。

また、採用された企画の発表者は、発表内容を論文にし、当研究科のオンライン・ジャーナル『AGLOS』に投稿することができます。

記

応募資格

次の(1)～(2)のいずれかに該当する者

- (1) グローバル・スタディーズ研究科 博士前期課程/博士後期課程に所属する大学院生
- (2) グローバル・スタディーズ研究科 博士後期課程を修了/満期退学し、修了/満期退学後3年以内の者

但し、満期退学者や博士号取得者が応募する場合は、発表者にグローバル・スタディーズ研究科所属の大学院生を含めることが望ましい。

応募締切

2022年6月19日(日) 23:59

応募方法

応募申請書をグローバル・スタディーズ研究科ホームページ

(<https://dept.sophia.ac.jp/g/gsl/>)よりダウンロードし、必要事項を記入してください。応募にあたっては、企画にかかわる本研究科所属の専任教員に相談し、応募書類をメールで送付しサインをもらってください。サイン済の応募書類をスキャンしたファイルを指導教員よりメールで受け取ったら、提出期限までにグローバル・スタディーズ研究科事務室まで電子メールでお送りください。

研究科より抛出される予算

- (1) 発表者およびコメンテーターに対し、謝礼をお支払いします。

応募申請書に必要な記載事項

- (1) 企画者の氏名
- (2) 企画者の所属及び連絡先（メールアドレス、住所、電話）
- (3) 企画にかかわるグローバル・スタディーズ研究科専任教員氏名/捺印（秋学期にサバティカルや休暇等を取得しない専任教員に依頼すること）
- (4) ワークショップのタイトル（日本語のタイトルには英語訳もつけること）
- (5) 開催希望日
- (6) 企画の概要
次の(a)～(e)を含めること：
 - (a) 発表者（学内及び学外の大学院生もしくは若手研究者。少なくとも1名の学外者を含むこと。すでに専任教員として大学等で勤務している者は除く）(3～4名)
 - (b) コメンテーター（1～2名）
 - (c) 各発表者の発表内容
 - (d) シンポジウムとして採用された場合、招聘を希望する講演者及び当該講演者を希望する理由（国内外を問わない）(1～2名、第一希望・第二希望を明記)
 - (e) ワークショップの目的及び期待される効果（日本語 1200字）

採用結果の通知

すべての申請企画をグローバル・スタディーズ研究科委員会で審議し、2021年6月末頃までに企画責任者に通知いたします。

報告書の提出

ワークショップ及びシンポジウム終了後、1週間以内に報告書を提出していただきます。報告書は研究科ホームページに掲載いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、グローバル・スタディーズ研究科事務室までお願いします。

グローバル・スタディーズ研究科事務室（10-435）

E-mail: gds-gs@sophia.ac.jp Tel: 03-3238-4075

<https://dept.sophia.ac.jp/g/gs/>

開室時間: 月・水・金 9:00～11:30、12:30～17:00